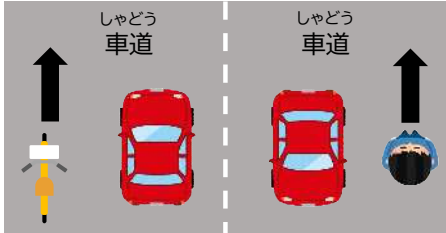


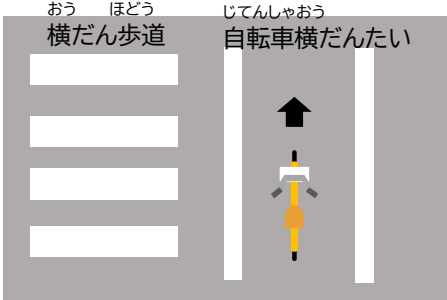
じてんしゃ
自転車のルールテスト(しょうがくせい
小学生)(かいせつ)

ねん 年	くみ 組	ばん 番	なまえ 名前
---------	---------	---------	-----------

ただ
正しいものに○、まちがっているものに×をつけましょう。

	もん 問	だい 題	こた 答え
1.	あれん 青信	くるま こ では車が来ないので、さゆう み 左右を見ずにわたってもよい。 (かいせつ) あれん 青信ごうでも車が来るときがあります。かならず あんぜん 安全をかくにんしてからわたりましょう。	×
2.	あめ 雨がふっているときは、かさをさして じてんしゃ の 自転車に乗ってもよい。 (かいせつ) かさをさして じてんしゃ の 自転車に乗ると、かぜ 風でバランスをくずしたりかさが まえ み 見えなくなったりしてきけんです。あめ ひ 雨の日はレインコートを着るか、 じてんしゃ の 自転車に乗らないようにしまし ましょう。		×
3.	じてんしゃ しゃどう ひだり 自転車は車道の左はしを走る。 (かいせつ) もんだい 問題のとおりです。 じてんしゃ しゃどう 自転車は車道の ひだり はし 左はしを走りましょう。ある 歩いているときは車道の みぎ ある 右はしを歩きます。		○
4.	しょうがくせい じてんしゃ ほどう はし 小学生は自転車で歩道を走ってもよい。 (かいせつ) じてんしゃ しゃどう はし 自転車は車道を走るのがきまりですが、13さい 才になるまでと70さい 才になってからはほどう はし 歩道を走ることができます。しょうがくせい 小学生であるみなさんはまだ13さい 才になっていないので、 じてんしゃ ほどう はし 自転車で歩道を走ることができます。		○
5.	ほどう ある ひと 歩道に歩いている人がいて じてんしゃ とお 自転車と歩道は通れないときは、よけてもらうためにベルを鳴ら してもよい。 (かいせつ) じてんしゃ 自転車のベルはあぶないときにだけ鳴らすもので、ある 歩いているひと 人によけてもらうために鳴らしてはいけません。また、ほどう ある 歩道は歩いている人のための道です。 じてん しゃ ほどう はし 自転車で歩道を走るときは、ある 歩いているひとが安全に とお 通れるようにスピードを お 落としましょう。		×
6.	じてんしゃ の 自転車に乗るときは、ヘルメットをかぶるようにしなければならない。 (かいせつ) ヘルメットは あたま まも だいじ 頭を守る大事なものです。 じてんしゃ の 自転車に乗るときにはヘルメットを かぶるようにしましょう。		○

ただ
正しいものに○、まちがっているものに×をつけましょう。

	もん 問 だい 題	こた 答え
7.	じてんしゃ はし だ みぎ ひだり みぎ うし 自転車で走り出すときは、右・左だけでなく右の後ろもかくにんする。 (かいせつ) 右の後ろから車が来るかもしれません。右・左だけでなくかならず右の後ろもかくにんしてから走りましょう。	○
8.	おう ほど う ある ひと じてんしゃ 横だん歩道に歩いている人がいるときは、自転車からおりて、おしながらわたる。 (かいせつ) 横だん歩道は歩いている人のため あります。歩いている人がいるときは自転車か らおりておしてわたりましょう。 また、横だん歩道のちかくに「自転車横だんたい」 があるときはそこをとおらなければなりませ ン。 	○
9.	ハンドルから両手をはなして自転車に乗ってもよい。 (かいせつ) 手ばなし運転はとても危険です。かならず両手ハンドルをにぎりましょう。	×
10.	左のブレーキがきかなくても、右のブレーキはよくきくのであれば自転車に乗ってもよい。 (かいせつ) 両方のブレーキがきかない自転車に乗ってはいけません。	×
11.	このしるし(ひょうしき)があるところは、自転車も止まる。  (かいせつ) このしるし(ひょうしき)は事この多いところにあります。自転車に乗っているときはもちろん、歩いているときも、このしるしがあればかならず止まって安全をかくにんしてからすすみましょう。	○
12.	自転車に乗っているときに人とぶつかっても、けががなければおうちの人やけいさつにいわなくてよい。 (かいせつ) 事こにあったときはけががなくても、おうちの人や先生、けいさつなど大人にかならず知らせましょう。	×

ただ
正しいものに○、まちがっているものに×をつけましょう。

	もん 問 だい 題	こた 答え
13.	ふみきりが^な鳴っていないときは、^{じてんしゃ}自転車からおりて^{でんしゃ}電車がきていないかをかくにんしてからわたる。 (かいせつ)^{あんぜん}安全のためふみきを^{わた}渡るまえは一度^{いちど}止まり、^{でんしゃ}電車がきていないかをかくにんして、^{じてんしゃ}自転車からおりておしてわたりましょう。	○
14.	^{よる}夜に^{じてんしゃ}自転車に乗るとき、^{どうろ}道路がよく^み見えていればライトをつけなくてもよい。 (かいせつ)^{じてんしゃ}自転車のライトは自分^{じぶん}が見^みやすくなるだけでなく、^{くるま}車の^{うんてんしゅ}運転手やまわりの^{ひと}の人に^き気づいてもらうためにつけます。ライトは暗くなる^{くら}前^{まえ}につけましょう。	×
15.	^{しょうてん}商店が^{なか}いの中は^{じてんしゃ}自転車をおして^{ある}歩くほうがよい。 (かいせつ)^{しょうてん}商店が^{ある}いは歩いている人^{ひと}が多く^{おお}道も^{みち}せまいため、^{じてんしゃ}自転車はおして^{ある}歩くようにしましょう。	○